

## 令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

### 「教科等の目標を達成するための一人一台端末の活用」

## 白岡市教育委員会

#### 実践1(小学校)

○教科名 社会科 4年

○単元名 「特色ある地域の様子」～地域の魅力が伝わるポスターを作ろう～

○身に付けたい力 その地域の良さ・地域の魅力を受け手(相手)に伝わるようポスターを作成する。  
タブレット端末を使い「横瀬町」を調べ、1枚という限られた制限の中で、写真や文章を効果的に使い、「自分の言葉」で地域の魅力を伝える。

○効果的なICT 端末の活用

Googleの「Pages」を活用し、プレゼンテーション資料を作成し、2学期の授業において一人ずつ発表した。

取り組んでいく上で、調べて出てきた文章をそのままコピーして貼り付けるだけの活動になる児童が多く出てきたため、「受け手」により分かりやすく伝えるためにはどうすればいいのかを全員で話し合った。

できるだけ短い言葉、見やすい文字の大きさ・色・形を工夫することで、より受け手に伝わりやすいことに気づき、考えさせることによって思考力・判断力・表現力を育成することができた。



#### 実践2(小学校)

○教科名 体育科 4年

○単元名 マット運動

○身に付けたい力 撮影した動画(はなまるフォーム)から自分の課題を見つけ、それを改善する方法を考え試行錯誤しながら取り組み、課題を解決していく。

○効果的なICT 端末の活用 「はなまるフォーム」(動画)を使い、15秒遅れた画像が映る機能を活用し、これまでは担任や友達が見てアドバイスする方法しかなかったものから、自分自身で動きを確認して技の見栄えや課題を知ることができるようになった。

言葉だけでは伝わりにくかったものが、映像を見ることで明確に伝わり、マット運動の技の向上につなげることができた。また、見本となる映像と重ねることで、上手な人と何が違うのかを認識でき、繰り返し再生しながら技の完成度を高めることができた。

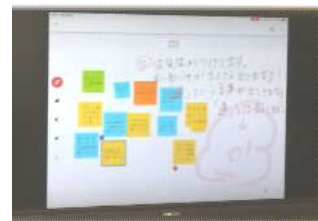
#### 実践3(小学校)

○教科名 国語科 5年

○単元名 対話の練習「どちらを選びますか」

○身に付けたい力 自分の考えをもち、相手に伝え、他の人の意見と交流することで、考えを広げたり深めたりする。

○効果的なICT 端末の活用 「Jamboard」を使い、各自の意見を集約するのに活用している。一人ひとりが発表しなくても、自分以外の人がある考えを持っているのか全員がリアルタイムで確認でき、「協調学習」の場面では「自分の考え」「他人の考え」を比較しながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。



#### 実践4(中学校)

○教科名 英語

○単元名 「夢の旅行」を企画しよう

○身に付けたい力 自分の意見や考えを分かりやすく相手に説明することができる。グループで協力して活動することができる。

○効果的な ICT 端末の活用 夏休み中の課題として、Google スライドを活用し、旅行の企画についてのプレゼンテーション資料を作成し、2学期の授業においてグループごとに発表した。Google スライドの共同編集機能を活用することにより、夏休み中においてもグループで共同作業を行うことができた。また、教員も各グループの進行状況を把握することができるため、必要に応じて指導・助言を行うことができた。さらに、プレゼンテーション資料を作成させることを通して、どのような写真を使えばよいか、英文はどこに表示すればよいか、分量はどうするかなど、自分の意見や考えを分かりやすく相手に説明するためには、どのような工夫をすればよいか考えさせることにより、思考力・判断力・表現力を育成することができた。

### 実践5(中学校)

○教科名 道徳

○単元名 サキとタク

○身に付けたい力 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や、その時の心情を様々な視点から捉え考えることができる。また、他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めることができる。

○効果的な ICT 端末の活用 コラボノートを活用し、個人の意見を付箋に書かせて全体で共有した。全体の前で自分の意見を発表することに抵抗を持っている生徒も、コラボノートを活用することにより、自分の意見を表現することができた。また、付箋機能を使うことで、意見をグループ分けしたり、張り替えたり、視覚的に全体の意見を共有することができ、黒板を使うよりもスムーズに授業を展開することができた。

### 実践6(中学校)

○教科名 社会科

○単元名 地理的分野 中国・四国地方 他

○身に付けたい力

- ・資料から中国・四国地方の産業の特色を多面的・多角的に捉える力
- ・地理的分野の学習に必要な基礎的・基本的な力

○効果的な ICT 端末の活用

- ・Google classroom で座席ごとに配られた資料から読み取れたことを、Google Jamboard の指定されたスライドに書き込み、シグソー班で共有した。
- ・Google forms を利用してテスト問題の配付と採点を自動で行い、基礎・基本の定着を図った。



### 実践7(中学校)

○教科名 理科

○単元名 生物の分類・動物のからだのつくりとはたらき

○身に付けたい力

- ・iPad を活用し、自分の意見を表現する力

○効果的な ICT 端末の活用

- ・コラボノートで生物分類のポイントを付箋紙のように扱って、グループ・クラス内で共有・考察し発表した。
- ・カメラ機能を活用し、映像を元に各自の観察テーマに基づいた発表をした。

